

発達障害・自閉情緒障害通級指導教室 教科の補充指導 学習指導案
—読みに困難さのある児童の指導—

平成29年12月7日（木）第5校時

1 対象児童 《省略》

2 児童の実態 《省略》

3 指導観

これまでに通級指導教室では、本児が抱える読みの困難さを改善し、在籍学級での学習意欲や学習理解がより高まることをねらいとした指導・支援を行ってきた。

《中略》

今年度は、学級での学習にさらに自信をもって参加できるよう、前期は、10月の学習単元である『大造じいさんとガン』の音読練習を行ってきた。後期は、国語のワークテストに出題される分量の文を自力で正確に読むことを目標とし、本児のよさを生かしながら、苦手なことを楽しく学習できるよう次のような指導の工夫を図りたいと考えている。

(1) 苦手なことを楽しく・意欲的に学習するための教材の工夫

PC教材を活用してのビジョントレーニングや料理アプリを題材とした読みの指導等、これまでも楽しく学習する工夫を試みてきた。後期も情報機器を積極的に活用していきたいと考えている。また、本児が意欲的に学習に臨むことができるよう、本児の興味・関心のある内容の文を教材文として取り入れたり、漫画を活用したり等の工夫も試みたいと考えている。

本時は、清風堂出版部の国語習熟プリントの中から「マザー・テレサ」（真鍋和子『新しい国語五年下』東京書籍）の文を教材文として使用する。昨年のおクリスマスプレゼントに漫画「紫式部」を希望して買ってもらったという本児の話から、伝記は本児が興味をもって取り組めることが期待できる。また、実在した人物の人物や功績が書かれたノンフィクションの文章は本児にとっては読みやすく、理解しやすい内容であると思われる。マザー・テレサに関する資料や漢字、語句の意味を情報機器を活用して提示する等の工夫を図り、読みの抵抗を和らげ、意欲的な学習にせまりたい。

(2) 保護者・担任との連携を図る工夫

本児の意欲を引き出し、効果的な支援を行うためには、保護者と在籍学級担任、通級指導教室との連携が必要不可欠である。保護者は、本児が家庭で音読の練習をする際、読んで聞かせたり、間違えて読んでいる箇所を教えたりということを行っている。在籍学級担任は、家庭での音読練習を支援するために本児に音読を録音したCDを渡す等、指導・支援の工夫を図っている。このような支援が本児のやる気や自信、安心感に繋がっている。そして、本児の読みの困難さが更に軽減されることを目指すために、後期は、連携型個別の指導計画を作成したい。本来ならば3者の連携指導計画が望ましいが、今回は学級担任と通級指導教室の2者で作成し、指導・支援の工夫を図っていききたい。

4 指導の経過 《省略》

5 指導計画（平成29年度）

（1）長期目標

- ・学年相応の文や文章を流暢に読むことができるようにする。
- ・相手や場に応じた言動を身に付けさせる。

（2）前期の目標と指導計画

①目標

- ・単語や文、文章をすらすらと読むことができるようにする。
- ・『大造じいさんとガン』をすらすら読む」ことを目標に音読の練習ができるようにする。
- ・SST やロールプレイを通して人とのやりとりについてのスキルを身に付けることができる。

②指導計画

次のような流れで毎時間学習をする。「大造じいさんとガン」の音読練習については、毎回場面を変える。

目的	学習活動
☆視写力	○本時の学習内容を書く。
☆聞く、話す ☆自己理解 ☆目的意識	○面談（初回のみ）をする。 ・得意なこと・苦手なこと ・なぜ通級指導教室に通うかについての確認 ・今年度の学習内容について
☆眼球運動、視知覚トレーニング ☆教科の補充指導 ・聞くこと ・話すこと ・読むこと ・書くこと	○ビジョントレーニングをする。 ・追視 ・漢字ワーク（点つなぎ、形写し、形の記憶） ○読みのウォーミングアップをする。 ・新出漢字の読み書き・文節区切り・レシピ読み 等 ○「大造じいさんとガン」の音読練習をする。 ・範読を聞く・分からない語句の意味調べ ・文節区切り・音読分析・間違い修正・音読練習
☆気持ちを言葉で表す ☆気持ちのコントロール	○SST ・嬉しいこと・嫌なこと ・緊張を和らげる方法

（3）後期の目標と指導計画

①目標

- ・学年相応の短い文章の初見読みが、正しくできるようにする。
- ・SST やロールプレイを通して人とのやりとりについてのスキルを身に付けることができる。

②指導計画

次のような流れで毎時間学習をする。初見の文章の音読練習については、毎回文章を変える。

目的	学習活動
☆視写力	○本時の学習内容を書く。
☆教科の補充指導 ・眼球運動、視知覚トレーニング ・聞くこと ・話すこと ・読むこと ・書くこと	○読みのウォーミングアップをする。 ・ビジョントレーニング 追視・3つの言葉 漢字ワーク（点つなぎ、形写し、形の記憶） ・新出漢字の読み書き・特殊音節読み・文節区切り ・レシピ読み 等 ○本時の文章を読む。 ・予習プリント 語句の意味理解 文節区切り ・音読・間違い修正・音読練習
☆気持ちを言葉で表す ☆場の状況把握 ☆場に応じた言葉遣い	○SST・ロールプレイ ・感情語表出訓練 ・連続絵カードやワークシートを活用した学習

6 本時の計画

(1) 本時の目標

- ・意欲的に音読の練習をし、文章を正しく読もうとしている。
- ・文の中から単語を抽出したり、文をまとまりに分けたりすることができる。
- ・分からない語句の意味調べをすることができる。
- ・音読の間違いに気付き、修正することができる。
- ・4コマ漫画を読み、感情語を選ぶことができる。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価
2分	○挨拶をする。 ○学習予定を書き、見通しをもつ。	・緊張をほぐす声かけをする。 ・指導者と正対できるようにする。 ・見通しがもてるよう、一度本時の学習の流れを説明してから板書の視写をさせる。	・学習に臨む姿勢ができたか。 ・丁寧な文字で、正しく板書を写すことができたか。
6分	○読みのウォーミングアップをする。 ・単語の抽出 ・単語、文節区切り	・慣れた活動ではあるが、手が止まってしまった場合は、ヒントを出す。 ・文節区切りといっても厳密に行うのではなく、意味の通じるまとまりに分けられるように支援する。	・平仮名の文字列からめあての単語を素早く探し出すことができたか。 ・平仮名で連ねて書かれた単語や文を意味の通じるまとまりに区切ることができたか。

32分	<p>○本時の文章「マザー・テレサ」を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の文の予習プリントに取り組む 漢字の読み 語句の意味調べ 文節区切り <p>・音読をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マザー・テレサの写真を用意し、どんな人かについて簡単に説明する。 ・漢字の読みや語句の意味を確認する。語句のイメージがもてるよう、用意した画像や絵、写真等を必要に応じて提示する。 ・読みにくそうな文の文節区切りをし、目になじませておくことの支援をする。 ・音読を聞きながら、読みの分析をする。 ・上手に読めているところは、即時評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の文への興味をもてたか。 ・漢字を読むことができたか。 ・分からない語句の意味調べができたか。 ・文を意味の通じるまとまりに区切ることができたか。 ・集中して読んでいるか。 ・正確に読もうとしているか。
	<p><記録方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・区切ったところ……/スラッシュを入れる ・繰り返し読み……線を引いて R ・読めない漢字……線を引いて K ・読みとどまって時間がかかる… T ・読み飛ばし……○を付けて横に× ・逐次読み……文字の横に・を打つ ・読み間違い……線を引いて記載 ・読み間違い後自己修正……線を引いて S ・付加……<を書いて記載 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・間違いに気付き、修正をする ・音読の練習をする ・音読をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・本児が間違えたように読み、読みの間違いに気付かせる。意識できるよう間違えたところにマーカーで印を付ける。 ・間違いが少ない場合は、教員が読み、区切ったところに/を書かせる。より流暢な読みへと繋げる。 ・間違いばかりを指摘するのではなく、上手に読めているところについても伝える。 ・読み間違えたところを中心に練習をさせる。 ・読み間違えたところに意識を向けながら読んでいる様子が見られたときや修正して読めたとき、流暢に読めたときは称賛をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・間違いに気付くことができたか ・教員の読みを聞きながら、区切ったところにスラッシュが入れられたか。 ・読み間違いを修正しながら読むことができたか。
8分	<p>○SST（感情語表出訓練）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4コマ漫画を読む ・気持ちを考え、気持ちに合う感情語を選ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自力で読ませた後、どんな内容だったかを聞き、教師がもう一度読んで聞かせる。 ・同じような出来事、または同じような気持ちになったときのエピソード等を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4コマ漫画の内容が読み取れたか。 ・内容に合った感情語を選ぶことができたか。
2分	<p>○感想発表をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の内容を振り返り、次時への意識付けを行う。 	

(3) 評価

- 意欲的に音読の練習をし、文章を正しく読もうとしていたか。
- 文の中から単語を抽出したり、文をまとまりに分けたりすることができたか。
- 分からない語句の意味調べをすることができたか。
- 音読の間違いに気付き、修正することができたか。
- 4コマ漫画を読み、感情語を選ぶことができたか。

平成29年度 後期連携型個別の指導計画

平成29年11月作成

学校名	小学校	氏名	
在籍学級担任氏名		通級指導教室担当氏名	

長期目標	
○学年相応の文や文章を流暢に読むことができるようにする。 ○相手や場に応じた言動を身に付けることができる。	

短期目標（後期）	
在籍学級	通級指導教室
○全体読みや一人読みに抵抗なく参加できるようにする。 ○テスト等で問題文を正しく読み取れるようにする。	○学年相応の短い文章の初見読みが、正しくできるようにする。 ○SST やロールプレイを通して人とのやりとりについてのスキルを身に付けることができる。

指導計画（支援・手立て）	
--------------	--

在籍学級	通級指導教室
○朗読 CD を渡し、自宅でも一人で読む練習、CD に合わせて読む練習をできるようにする。 ・聞いて言葉のまとまりをとらえる。 ○詩集に載っている詩を担当が読んで聞かせてから、クラス全員で一度声を合わせて読むという流れで毎時間音読することで、文章を目で追い、音声からも捉える機会を増やす。 ○文章の暗唱を推奨することで、声を出して読むことへの抵抗をなくす。 ○テストの問題には、後日自主学习で必ず復習させる。	○読みのウォーミングアップとして毎時間次のような内容から選択して取り組む。 ・ビジョントレーニング 追視等の眼球運動、点つなぎや形写し等の視知覚のトレーニングをする。 ・漢字の読み書き練習をする。 ・特殊音節読みの練習や文節区切りの練習をする。 ・動画と文が対になっている料理アプリを活用し、短い文を読む練習をする。 ①出てくる単語の練習をする。 ②動画を見てイメージをもたせる。 ③文を音読する。 ○国語のワークテストに出題される程度の文章を用意し、音読の練習をする。 ①読み誤りやすい語句、フレーズをチェックし、予め練習をさせる。 ②分からない語句について意味調べをさせたり、視覚資料を提示してイメージをもたせたりする。 ③音読の分析を行い、間違いの修正をする。読み誤った箇所にマーカーで印を付ける。 ○連続絵カードやワークシートを活用して、場の状況を把握したり、相手の気持ちを考えたり、場に応じた対応の仕方について考えさせる。

マザー・テレサ

マザー・テレサがインドへやってきたのは、一九二九年、十八才のときだった。今のマケドニア（旧ユーゴスラビアの一部）にある古い町、スコピエに生まれたテレサは、やさしい両親や仲のよい兄弟たちに囲まれ、何不自由ない生活を送っていたが、貧しい人たちのために働こうとインドへやってきたのだ。そのころインドはイギリスの植民地で、各地にキリスト教の教会や修道院が建てられていた。

テレサは、インド第一の商業都市といわれたカルカッタにあるロレット修道院に住み、聖マリア高等学校の地理の先生になった。

ロレット修道院は、港を見下ろす高台にあり、ハイビスカスの花がさきみだれる花園のような所だった。聖マリア高等学校の生徒たちは、ほとんどが金持ちのむすめたちだ。

ところが、学園を一步外に出ると、着の身着のまま、食べ物を探してさまよう人たちがあふれている。

「わたしが、インドへやってきたのは、この人たちを救うためではなかったのか。」

食べ物をせがんで、群がってくるはだしの子どもたちを見るたびに、テレサの心はいたんだ。

マザー・テレサ

ラクラク予習君

名前（

）

①漢字を読もう

両親

困まれる

何不自由ない

貧しい

働く

植民地

教会

修道院

商業都市

高等学校

地理

花園

救う

②線を引いてまとまりに分けよう。

・貧しい人たちのために働くこと、インドへやってきたのだ。

・ハイビスカスの花がさきみだれる花園のような所だった。

・学園を一步外に出ると、着の身着のまま、食べ物を探してさまよう人たちがあふれている。

③意味を調べよう。

・植民地

・着の身着のまま

・花園

・せがむ

・群がる
